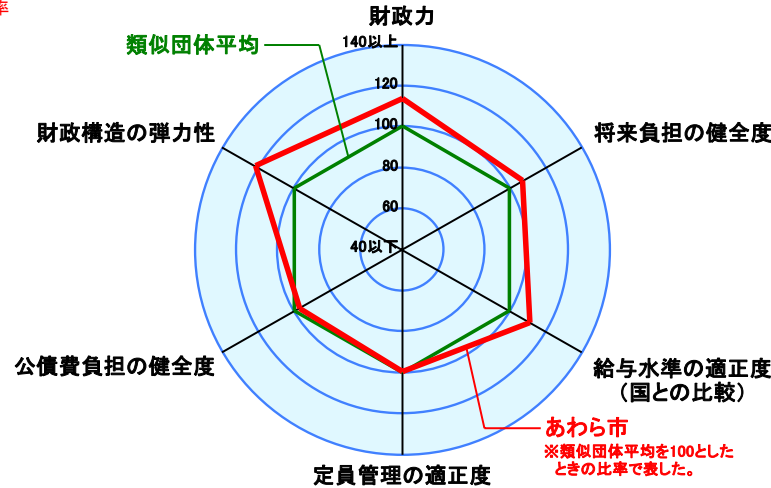
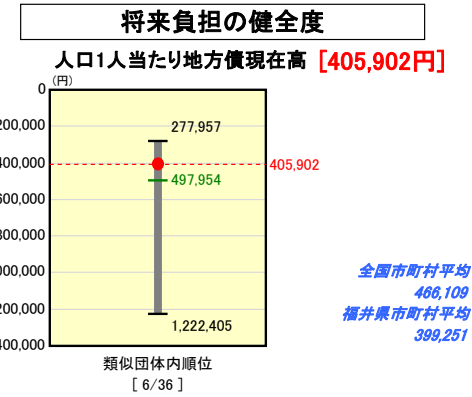
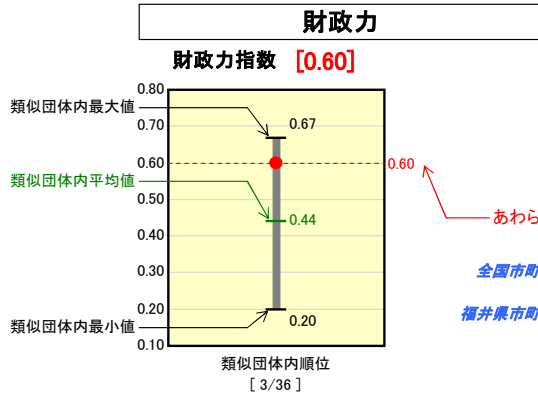


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福井県 あわら市

人口	31,419 人(H17.3.31現在)
面積	116.99 km ²
歳入総額	13,718,993 千円
歳出総額	13,402,427 千円
実質収支	315,727 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

※平成16年3月1日に、旧芦原町と旧金津町の合併により、あわら市となった。

●財政力指数

法人市民税が対前年度比20.4%増と好調であったため、類似団体の平均を大きく上回る結果となった。ただし、他の典型的都市と比較すると決して良い指数とは言えないので、今後も積極的な企業誘致活動を行うとともに、課税客体の正確な把握に努める。

●経常収支比率

職員の新規採用の抑制、経常的な物納費(消耗品費・燃料費・光熱水費)の抑制等の効果により、類似団体の平均を下回っている。高齢・少子化社会の到来により、扶助費の増加が予想されるため、今後とも財政改革を推進し、現在の水準を維持する。

●起債制限比率

合併前に実施したセントピアあわら建設事業・金津創作の森整備事業等の影響により、類似団体の平均をやや上回っている。今後、市総合振興計画に基づいた各事業が実施されるため比率の悪化が懸念されるが、普通交付税算入面で有利な合併特例債を活用するとともに、合併特例債以外の起債を抑制することにより起債制限比率の悪化を防ぐ。

●人口1人当たり地方債現在高

後年度の財政負担を考慮し、安易な起債充当を抑制しているため、類似団体の平均値を下回っている。今後も事業の取捨選択を行い、合併特例債以外の起債を極力抑制することで指数の悪化を防ぐ。

●ラスパイレス指数

合併前の旧2町時代から給与の適正化に努めているため、類似団体の平均を下回っている。当市のラスパイレス指数は高卒者より高卒者が高い傾向にある。今後の職員構成は高卒者が減り相対的に大卒者が増える傾向にあるため、ラスパイレス指数はさらに低水準になることが予想される。今後も各種手当の必要度を検討するなど、給与の適正化に努める。

●人口1,000人当たり職員数

合併前の旧2町時代から退職職員の不補充を実施している。合併により職員数はさらに減少しているが、平成16年度のデータにはまだ反映されていないため類似団体の平均に位置する結果となっている。今後も合併の効果により職員が減少するため、本指数がさらに下がることが予想される。

